

長崎県在来種「対馬地鶏」を活用した新銘柄地鶏の開発

【目的】 長崎県には現在、県を代表する銘柄鶏の生産、流通がない。そこで、肉味に優れた長崎県在来種の「対馬地鶏」を活用し、美味しく出荷日齢の早い新銘柄地鶏を開発する。

地鶏は普通、出荷まで約120日程度を要する。母方には対馬地鶏を用い、父方には出荷日齢を早めるため成長が早い肉専用種（シャモ、レッドコーニッシュ、ホワイトロック）の鶏を用いて表1,2に示したような5種類の新銘柄候補鶏を作出し、増体量や羽装、旨味成分と食味等から新銘柄地鶏の決定を行った。

表1. 肥育成績

交配様式	区 ¹⁾	育成率 %	生鳥体重		飼料消費量 kg/羽	飼料要求率	生産指数 ²⁾	解体歩留 正肉 ³⁾ %	腹腔内 脂肪 %
			82日齢 kg/羽	91日齢 kg/羽					
二元交配	S×T	94.0 ^a	2.53 ^a	2.32 ^a	7.3	2.89	100 ^a	31.7	1.6
	WR×T	98.0 ^b	3.09 ^b	2.83 ^b	8.3	2.69	137 ^b	30.3	5.2
	RC×T	97.0 ^{ab}	3.14 ^b	2.93 ^b	8.7	2.76	135 ^b	31.4	4.4
三元交配	RC×(S×T)	99.0	3.47 ^x	3.19 ^x	9.9	2.85	147	31.9	5.6
	S×(RC×T)	98.0	3.12 ^y	2.82 ^y	9.0	2.90	129	33.5	2.8

1) T=対馬地鶏、S=シャモ、WR=ホワイトロック、RC=レッドコーニッシュ

2) 生産指数(プロダクション・スコア(PS)): 体重×育成率×100/(日齢×飼料要求率)

3) 解体歩留正肉:(むね肉+骨抜きもも肉)/絶食後生鳥体重で算出

縦列異符号間に5%水準で有意差有

表2. 羽装

区	オス	メス
S×T	茶黒系	黒
WR×T	雌雄に関係なくばらつく ^{注)}	
RC×T	茶系	茶系
RC×(S×T)	雌雄に関係なく茶系、黒系が半々	
S×(RC×T)	茶黒系	黒系

注) WR×Tの内訳: 横斑・黒系65%, 茶系15%, 白20%

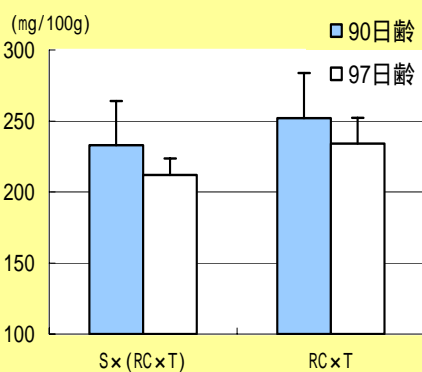


図1. イノシン酸(核酸関連物質)含量

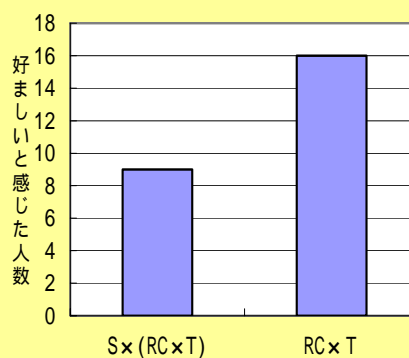


図2. 官能試験(歯ごたえ)



新銘柄地鶏に決定した「レッドコーニッシュ × 対馬地鶏」

【結果】

二元交配の「レッドコーニッシュ × 対馬地鶏」の掛け合わせが80日～90日で食鳥処理に適した体重(3kg前後)となり、旨味成分や歯ごたえにも優れ、羽装においても性別を問わず茶系となり、統一性のある肉用交雑鶏を生産できることが判った。このことから

新銘柄地鶏の交配様式を「レッドコーニッシュ × 対馬地鶏」に決定!